



歐洲現情勢の解剖

星氏の時局講演會

東都でも歐洲通の權威

星代議士が地元石城青年の爲めに毎年東京に於て催されてゐる時局講習會同窓生によつて成る日進會主催の時局に關する大講演會は来る二十四日午後七時から平市公會堂に開催されるが講師は左記の兩氏で川原教授は東都にありても歐洲通の權威者として知られてゐる人で岡氏の蘊蓄より説かれる歐洲現狀の解剖こそ聽きものであると知る人々に待たれてゐるが多數の來聽を歓迎する。

▲世界の趨勢と東亞の將來
中央大學教授川原次吉郎氏最近に於ける東亞の情勢星代議士

國の柱

石城出身三勇士
永山久次伍長、石城郡豊間村の沼内出身は吉田部隊に屬し大洪山の殲滅戦に活躍し名譽の戦死せる旨昨十九日原隊の發表となつたが留守宅には母うらさん(六七)兄休氏(四)弟久雄(四)末廣(三)の外目下從軍中の海軍兵隊隊長(三)君がある向は同君は出征前まで漁業を営んでゐた。

五十石三喜三伍長、石城郡錦村の中田出身同じく吉

四倉市場の春蘭扱

五日で二萬千貫余 昨日の相場は九四圓半

四倉蘭市場昨十九日の第五日目取引は白蘭出廻り三十四萬六千六百貫この最高九四圓八〇銭、最低九一圓、平均九四圓五〇銭、黃蘭の出廻りは三百五十二貫この最高九〇圓八〇銭、最低八七圓八〇銭、平均八九圓であつたが出荷は漸く出廻り最盛期を越えたりしく同日までの累計取扱數量は白蘭二〇四六二貫、黃蘭一〇三〇四貫で合計二萬一千四百九十六貫に達した。

釣銭を貯蓄寄附

平市一丁目三東かつえさんは活動常設樂館に於て釣銭を

内務技師の災害工検査

明日石城郡下の平土木監督所管下災害工事左記に對する内務省の中間検査は明日二十一日若松技師來郡、縣土木課の染谷技師同行で行はれるが一行は當夜湯本町泊翌二十二日磐城東線で郡山方面へ向ふ豫定。

▲海岸四倉遊埠 小名濱商港岸壁 河川改修(川部村地内) 小玉川(赤井村地内)以上

平方面委員會

平方面委員會では来る二十日午後市役所に會同後後について協議打合せをなす

非常時下の青年校新教育

平市の新計畫
平第一青年學校では義務制實施により機構が大きくつたので來月一日の記念日に際し時局下に處する新教育の進展充實を圖るため縣事務部長からの指示事項に基づき其れを

支那單語

日本酒のことをリベ
ンチウ、酢は醋と稱し
てツウ、鹽を白鹽と書
いてパイイエン、砂糖
を糖と稱してタン、白
砂糖は白糖でパイタン
氷砂糖は氷糖でピタン
ン、茶はチアアと呼ぶ

興村塾を新設

石城郡渡邊村では今次事業に發願した興村塾を新設し毎月青年校生、青年團員、壯年の實習及び學習に大馬力を注ぐこととなつた

出征家庭の田植 勤勞班の奉仕

一町餘の作付
石城郡植田町の石塚部落の勤勞班では班長渡邊己之松氏以下總動員で部落内の努力不足に活躍し同地出身で目下久保部隊に屬し第一線に起つてゐる渡邊安一等兵の留守宅が同君の妻よてさん(三三)と老父母の手で一町三反歩の水田を作つてゐるに對し田植から田

輪王寺宮御旅泊 遺蹟建碑趣意

御遺蹟保存會謹識
一月四日、御遺骸は横須賀に着かる、十四日、明治大帝陸軍大將に降せ、其の勳功を追賞し給ひて、功三級に叙し、五日始めて喪を發し、十一日勅して國葬の大禮を用ひ、小石川の豊島岡に埋葬せしめらる、御壽四十九才と聞えし、噫、其の月六日、福島縣會にては

讀賣の記者異動

讀賣新聞平通信部長小野野不二男氏は今回仙台北信部に榮

戰地の便り

第三國の慾の皮

前略、その後は御無音多謝致します、先生には益々御健勝に涉らせられ吾が郷土の爲めに御盡力の御事と遠察いたします、又わが親愛なる講習生諸君には時局下に活躍し同地出身で目下久保部隊に屬し第一線に起つてゐる渡邊安一等兵の留守宅が同君の妻よてさん(三三)と老父母の手で一町三反歩の水田を作つてゐるに對し田植から田

石城郡南各鑛石炭増産好成绩

石城郡南各鑛石炭増産好成绩
石城郡南各鑛石炭増産好成绩
石城郡南各鑛石炭増産好成绩

小川江と鮫川堰の管理者更迭

石城郡小川江及び鮫川堰兩水利組合管理者は事務官富澤清氏であつたが今回同氏の退官により小川江は本縣地方課長岩瀬泰次氏に鮫川堰は水産課長安江治平氏に何れも去る八日付で決定した

轉、來る二十五日午前十一時

轉、來る二十五日午前十一時七分平驛發で赴任の筈だが後任は同社福島支局の松坂清作氏である

割合に長命して居る様も

割合に長命して居る様も
八噸を増加してゐる
平農業倉庫
明日の共販
出荷一三六六俵

電話御護り致したし

電話御護り致したし
詳細は本社に於て

平農業倉庫 明日の共販 出荷一三六六俵

▲平倉庫二俵 飯野一號 九九俵 同二號八七俵 高久一號一五三俵 同二號一五五俵 草野一號一五五俵 同二號一七俵 同四號一俵 小川六四俵 大野一四俵 勿來一四二俵 神谷四六俵 平倉三五俵 夏井八一俵 平倉庫投麥正味一三二貫五百 八入一〇俵(以上)

リヤカーで即死
石城郡神谷村の相川壽松七女(三)は去る十六日午後三時三十分頃姉のちの子と居室附近の急坂でリヤカー乗りで戯れてゐたが轉落した上にリヤカーが乗つて即死した

電話御護り致したし
詳細は本社に於て

▲ホシエニ色 シヤープペンシル 一本金五拾錢以上 十數種

▲文魁文堂 電話313番

